



2019年11月8日

独立行政法人国際協力機構（JICA）

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

JICA と損保ジャパン日本興亜 中小企業・SDGs ビジネス支援事業に関する連携覚書の締結について

独立行政法人国際協力機構（理事長：北岡 伸一、以下「JICA」）と損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、本日「中小企業・SDGs ビジネス支援事業に関する連携覚書」を締結しましたのでお知らせいたします。

1. 連携の背景・目的

JICA は、長年にわたる政府開発援助（ODA）の実施を通じた開発途上国とのネットワーク、知識および経験を有しています。この強みを活かし、開発途上国が抱える課題の解決、日本企業の海外展開、ひいては日本経済の活性化を目指し、優れた技術や製品を持つ日本の中小企業の海外展開のサポートや SDGs ビジネス支援事業に取り組んでいます。

損保ジャパン日本興亜は、損害保険事業を中心に、デジタル技術の活用やSOMPOホールディングスグループ各社との連携により、「安心・安全・健康」に資するサービスを提供し、社会に貢献することを目指しています。また、事業活動を通して培ってきたノウハウを活かして、全国で地方創生の取り組みを行っています。

上記の JICA・損保ジャパン日本興亜の持つ双方の強み・ノウハウを補完し合うことで、SDGs 達成における課題解決を図るべく本連携覚書を締結するに至ったものであります。

2. 主な連携内容

- （1）海外展開を志向する企業に対する進出支援に関する情報交換
- （2）海外進出に関するセミナーの提供、開発途上国におけるリスクマネジメントや保険によるリスクヘッジ等に関する情報提供

3. 今後について

今後、JICA と損保ジャパン日本興亜は、海外進出に関する企業向けセミナー等において、JICA が行っている支援事業の案内や実際の事例紹介、損保ジャパン日本興亜による海外進出におけるリスクマネジメントや保険を活用したリスクヘッジ等の情報提供を連携して行い、日本企業の開発途上国への海外展開を支援することで、開発途上国の経済・社会開発、日本国内の地域経済の活性化に取り組んでいきます。

以上